

HODAKAのシステム制震検討

邸名 穂高 太郎 様邸 建築地 宇治市広野町〇〇〇

築年	2000年以降				地盤状況	普通						
階高	1階 2.85 m				2階 2.8 m							
補強前												
屋根仕様	瓦											
1階床面積m ²				2階床面積m ²								
45.77				22.68								
壁の耐力(kN)				層間変形角								
1階		2階		損傷限界		安全限界						
X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向					
12.13	22.68	10.22	10.22	1/100	1/131	—	1/29					
判定⇒				NG	OK	NG	NG					
補強後												
屋根仕様	瓦											
床面積m ²				床面積m ²								
45.77				22.68								
壁の耐力(kN)				Hiダイナミックダンパー設置個数								
1階		2階		1階		2階						
X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向					
12.13	22.68	10.22	10.22	3	2		1					
※耐震診断を行った数値から「Hiダイナミック制震工法 耐震改修 効果判定書」を行った場合とダンパー設置個数で若干差異が出る場合があります。	層間変形角											
	損傷限界		安全限界									
	X方向	Y方向	X方向	Y方向								
	1/456	1/281	1/35	1/36								
	OK	OK	OK	OK								

※「損傷限界」とは、中規模地震(震度5弱～5強程度)が発生した場合でも、建物の主要構造材に損傷が起きない限界のことです。

※「安全限界」とは、大地震(震度6強～7程度)が発生した場合でも、建物が崩壊せず、人命などの安全が確保できる限界のことです。